

テーマ

「公共施設の最適化」

令和7年度 議会報告会・意見交換会

【報告書】



見附市議会

総務文教委員会

1. 開催趣旨

本会は、総務文教委員会が行ってきた「公共施設の最適化」に関する調査研究の成果を市民と共有するとともに、参加者から率直な意見をいただき、市民と議会が共にまちの将来を考える機会として開催したものである。

目的

公共施設の課題と将来像について市民と問題意識を共有し当事者意識を持ってもらうことを目的とします。

2. 開催日時・会場

日時：令和 7 年 11月6日(火)19:00～21:00

会場：見附市議会委員会室(見附市役所5階)

3. 参加者

市民参加者：18 名

議会側参加者：総務文教委員会 8 名

星野雄哉(委員長)

馬場哲二(副委員長)

五十嵐遼(委員)

小林園以(委員)

信賀陽子(委員)

樺澤直純(委員)

渡辺美絵(委員)

大坪正幸(委員)



4. 実施内容

(1)第 1 部 議会報告会

組織体制

内容	担当	備考
司会	樺澤委員	
開会あいさつ	星野委員長	
議会報告	渡辺議長	
総務文教委員会報告	星野委員長	導入、概要説明
	馬場副委員長	報告①公共施設の最適化の目的、シナリオ
	五十嵐委員	報告②求められる市の組織体制について
	小林委員	報告③今後必要なこと(意識醸成、広報)
	大坪委員	まとめ
PC 操作	信賀委員	

実施内容

議会報告 渡辺美絵 議長

「見附市議会 議会改革の取り組みについて」

総務文教委員会調査報告

年間サイクルテーマ「公共施設の最適化について」

(2)第 2 部 意見交換会(グループワーク)

4 グループに分かれ、以下の問いを中心に意見交換を行った。

1)私の考える「公共施設の最適化」とは何か

2)公共施設の最適化に向けて市民ができることは何か

5. 各班の意見

【第1班】

ファシリテーター 大坪正幸議員

記録 信賀陽子議員

1. 私の考える公共施設の最適化

「数の見直し」に関する意見

- ・適当な配置と配分をする

「統廃合」に関する意見

- ・利用率の低い施設の統廃合を行う
- ・人口に合わせた場所に移転する
- ・例えばコミュニティを中心して公民館を減らす
- ・公民館長を減らしてコミュニティ長のみにする
- ・湯沢学園をモデルに学校の統廃合を進める

「施設の機能関連」に関する意見

- ・利用率の向上を図る
- ・陸上競技場、野球場、体育館、テニスコートの活用促進、アピール、利用率アップ

「その他」の意見

- ・「何を」「誰を」重要視するか、目的により考える

2. 公共施設の最適化に何をすればいい？

古いものを生かす

- ・昔の知恵を生かす

- ・古民家(空き家)の利活用
- ・どうしても機械を入れるのではなく建物に備わっているものを生かす

民間の力を借りる

- ・民間の商業施設などを誘致
- ・複合型の施設(図書館に蔦屋、カフェなどを併設させている事例もある)

課題を認識する

- ・維持管理がネックなことを認識する



【第2班】

ファシリテーター 馬場哲二議員

記録 樺澤直純議員

1. 私の考える公共施設の最適化

「数の見直し」に関する意見

- ・指定管理者に関連する事業について、諸々の様々な数字が見えない
- ・費用対効果が必要、1人当たりの経費など

「統廃合」に関する意見

- ・(例として、老人いこいの家今町荘など)古い箱物が多いので統廃合をする。
- ・市内小中学校や他の公共施設の老朽具合と活用状況などから集約化や複合化を要する。

「施設の機能関連」に関する意見

- ・ただ減らせれば良いではない、誰にとって必要な公共施設なのか。
- ・他の自治体の公共施設を例に複合型で市の直営方式では。

「その他」の意見

- ・公共施設の見える化、何があるのかを先ず知る。
- ・みんなが納得できるお金の使い方。
- ・最適化しないと究極は市民の税負担にはね返る。



2. 公共施設の最適化に何をすればいい？

- ・市民も他市町村に視察に行き見附市との比較をする。
- ・市内公共施設の老朽化から市外公共施設の活用等で補助を出すなどで支援する。
- ・民間(お茶の間レベル)からの意見を聞き取り、その吸い上げと意見交換会(各地域、各年代、各業種など)の開催。今回不参加であった方々の意見も参考にする。

【第3班】

ファシリテーター 委員:星野雄哉議員

記録 委員:小林園以議員

1. 私の考える公共施設の最適化

「数値的見直し」に関する意見

- ・残す施設と手放す施設の線引きを明確に、現状把握と優先度の決定
- ・利用率のデータ化、老朽化ランキングなど現状を市民にも見える化
- ・最適化は市の支出を節約すること。築年数や季節別利用者数や年代等を出し、必要とされる所を皆で把握して管理していくこと。情報は1年1年リアルにアップデートを

「統廃合」に関する意見

- ・小規模校の統廃合
- ・大合併もあり
- ・小学校の空き教室に公民館や図書館機能を加え、こどもから高齢者まで地域で共に活動する場所に機能を統合
- ・文化的なものと運動的なものを用途で分けながら場所を集約。例)まちやま
- ・学校と地域施設の複合化。例)運動+健康増進+防災拠点

「施設の機能関連」に関する意見

- ・新たな施設をつくらず、今あるものを整理してリサイクルする
- ・どの年代に必要なのか、皆に必要な施設なのかを把握、空きスペースを利用
- ・こどもと高齢者は時間で分けて共に使えること
- ・必要とされる優先順位。図書館と総合体育館は必要。インフラも関係すること。例)消雪パイプや道路のデコボコも直していきたい

「その他」の意見

- ・移動の足の充実。コミバスやタクシー、その他
- ・外部人材も大事だが、意外と市民の中に人財がいるかも
- ・市外料金を取る施設があっても良いのでは
- ・市の取り組みをまだまだ市民が知らなすぎるのでまずは知ってもらう
- ・「何を」「誰を」重要視するか、目的により考える

2. 公共施設の最適化に向けて市民がやれることは？

- ・空き施設＝地域資産として、民間・NPO・地域団体との共創利用制度を創設
- ・イベント集客など稼ぐ施設への転換も検討。民間と連携。この事を様々な人に広げる
- ・施設の使い方を広くお知らせし、利用料が上がっても快適に過ごせる価値を理解する
- ・地域の資源になる建物を掘り起こし、収入と成り得るような観光資源にリノベーション、機能変化による付加価値で施設自体の収入にするアイデア提案。例)十日町市(廃校小学校)の体験型の空間絵本「美術館」、十日町市の(閉校小学校を)冬のグランピング宿泊施設「雪原学舎」、和島の(廃校利活用)就労支援レストラン「トゥー・ル・モンド」、三条市のものづくり学校チャレンジショップ、山形の市営住宅をチャレンジショップへ(最初の数年は家賃無料?)
- ・見附市の売りを確認。
- ・DIY をイベントにして市民参加、ランキング投票など
- ・意見交換会のハードルを下げて、市民の意識を広げる
- ・それぞれがあゆみよる交流。あゆみよりにより世代間理解



【第4班】

ファシリテーター 渡辺美絵議員

記録 五十嵐遼議員

1. 私の考える公共施設の最適化

「数の見直し」に関する意見

- ・費用対効果の明確化による精選

→老朽率や現状の利用率などデータをもとにして、公共施設の費用対効果による統合・用途転換など数の見直しを図る

「統廃合」に関する意見

- ・学校の利活用、資源の最大活用

- ・学校の統廃合が必要なのではないか

- ・小中学校の空き教室を地域の人に開放する、現在の公民館機能を移す

→学校の活用の仕方を考えていくことが必要

学校施設において空き教室などの普段利用をすすめ、他の公共施設機能の集約などを行う

⇒学校を活かす！ ※千葉など他自治体では数十年前から実施しており様々な事例あり

- ・統廃合や集約化をする上では、予算規模・施設維持費更新・利用率の見える化が必要

→長岡市や柏崎市においては、コミュニティ確立と公民館維持を並行して進め集約した

「施設の機能関連」に関する意見

- ・新しい労働人口を活用した人件費の縮小

- ・市民力を生かした施設運営

→指定管理制度によって半分の予算で運営できた 例)ふぁみりあ

「その他」の意見

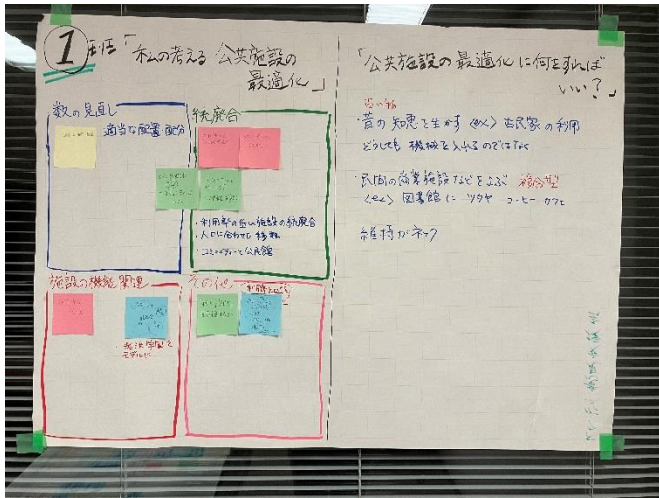
- ・トップダウンダウンの限界、ボトムアップへ
 - 現場からの意見をしっかりと聞くようにする
- ・市と民間の差別化、行政は民間の邪魔をしない
 - 市が管理運営しているものでも、本当にそれは適当なのか？
 - 例としてほっとぴあは民間でやったほうがいいのではないか
- ・現在の建物の維持が難しい場合に空き家などを利用して機能代替がはかれないか
- ・各地域の使われていない公園は地域住民で管理を行う
- ・草苅だけでなく花を育てることもできないか

2. 公共施設の最適化に何をすればいい？

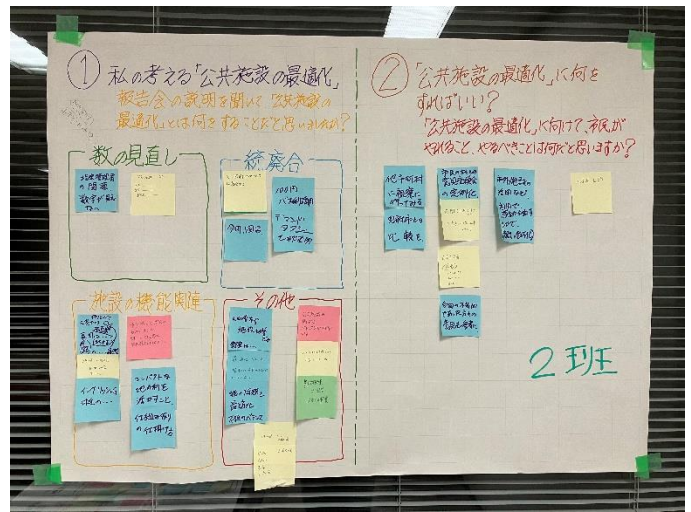
- ・市民は関心を持つことから
- ・危機感の共有をする⇔市民力の学習
 - 定期的な報告会などを実施して、意識共有を深める
- ・行政、議会からの情報公開
 - 行政：維持更新費の将来見通し、利用率、老朽度などを分かりやすく可視化し、情報公開を
- ・伝える情報は負の部分も隠さず公開していく
 - 議会：「発信！」をキーワードに定期的な報告会の継続で認識をそろえる
 - 情報発信をするときは見やすさや、分かりやすさを
- ・市民が学ぶための機会創出
 - 市民はここに積極的に参加をして、関心や意識を高める



1班 太洋紙まとめ



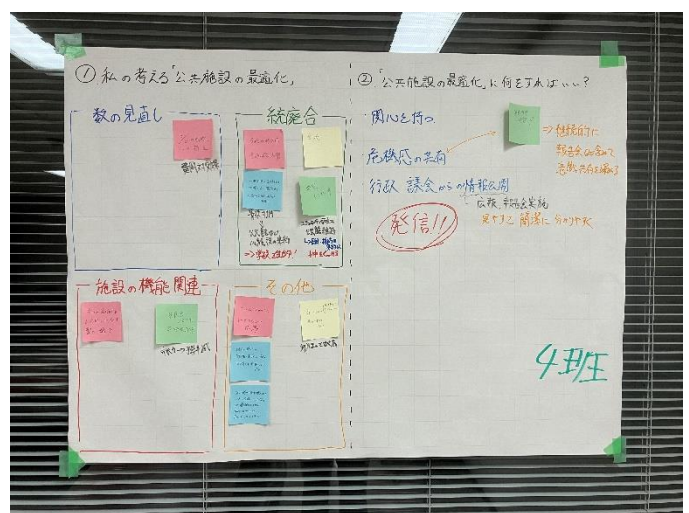
2班 太洋紙まとめ



3班 太洋紙まとめ



4班 太洋紙まとめ



6. アンケート結果(回答数:18 件)

(1) 回答者属性(年代)

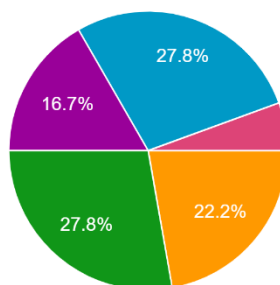
30代:5名

40代:6名

50代:3名

60代:5名

70代以上:1名

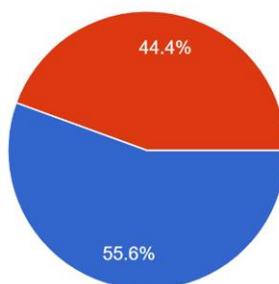


● 10代
● 20代
● 30代
● 40代
● 50代
● 60代
● 70代以上

(2) 回答者属性(性別)

男性:10名

女性:8名



● 男性
● 女性
● 無回答

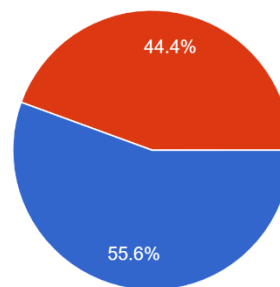
(3) 公共施設の現状や課題について、 理解が深まりましたか？

とても深まった:10名(55.6%)

ある程度深まった:8名(44.4%)

あまり深まらなかった:0名

全く深まらなかった:0名



● とても深まった
● ある程度深まった
● あまり深まらなかった
● まったく深まらなかった

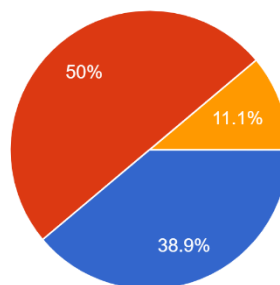
(4) 議員の説明や資料は分かりやすかったですか？

とても分かりやすい:7名(38.9%)

分かりやすい:9名(50.0%)

難しかった:2名(11.1%)

理解できなかった:0名



● とても分かりやすい
● 分かりやすい
● 難しかった
● 理解できなかった

(5) 第一部 議会報告会で、特に印象に残った内容があれば教えてください。

- ・議会の危機感が伝わりました
- ・危機感があまり感じられない気がした
- ・公共施設の現状を知ることができて、今まで当たり前のように使えていた施設に対して危機感をもちました。
- ・見附市の公共施設が 184 もあること
- ・委員会運営の課題を示された(マイナス部分)こと
- ・行政を含め、誤解を恐れず、open に話していただいたこと
- ・鳥取でのとりくみを取り入れているというところ
- ・鳥取も見附市と同様の状況だったのか？
- ・「これまでの委員会運営」自分たちの課題に取り組む第一歩、良かったです。
- ・今まで知らないことも多かったのでとても素晴らしい機会でした！
- ・FM をはじめて知りました。市民ひとりひとりが意識を持つことが大切と思いました。
- ・公共施設の多さと現状の大変さがわかった。
- ・議員さん達が協力して進めている姿がたのしく感じました
- ・FM 推進体制、仕組みを鳥取に行って学んだ
- ・市議会が自分達の問題点を洗い出し、運営のあり方を考えたこと



(6) 今後、見附市の公共施設についてどのような方向性が望ましいと思いますか？

統廃合などにより施設数や規模を縮小する：6 名(33.3%)

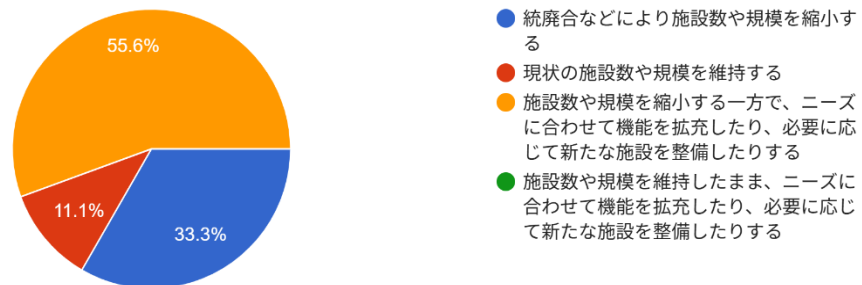
現状の施設数や規模を維持する：2 名(11.1%)

施設数や規模を縮小する一方で、ニーズに合わせて機能を拡充したり、

必要に応じて新たな施設を整備したりする：10 名(55.6%)

施設数や規模を維持したまま、ニーズに合わせて機能を拡充したり、

必要に応じて新たな施設を整備したりする：0 名



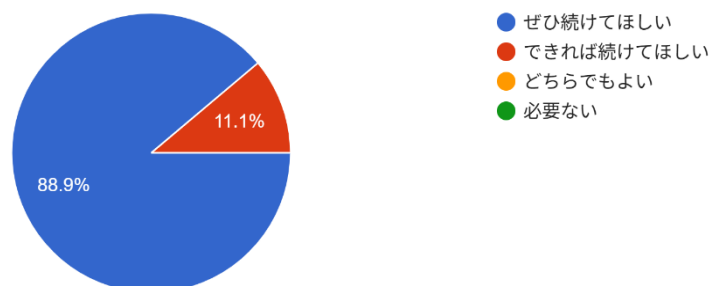
(7) 今回の報告会・意見交換会のような場が今後もあったほうがいいと思いますか？

ぜひ続けてほしい：16名(88.9%)

できれば続けてほしい：2 名(11.1%)

どちらでもよい：0名

必要ない：0 名



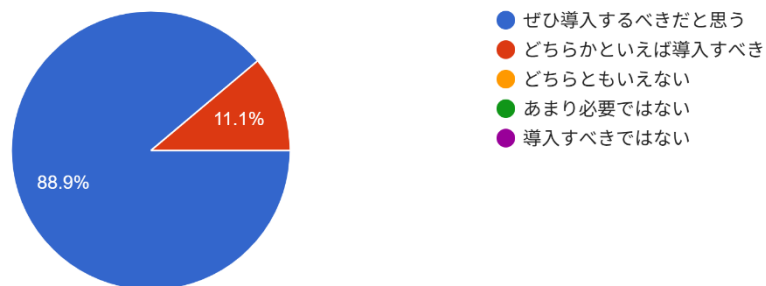
(8) 9月定例会において、総務文教委員会では調査研究の成果を踏まえ、委員会として見附市と議論を行いました。当市議会において“委員会代表質問”や“会派代表質問”といった制度は正式にはありませんが、このような議会の新しい質問機会を今後も設けていくべきだと思いますか？

ぜひ導入すべき:16名(88.9%)

どちらかといえば導入すべき:2名(11.1%)

どちらともいえない:0名

あまり必要ではない:0名 導入すべきでない:0名



(9) 質問(8)のような質問機会が得られる場合、どのような点に期待しますか？

- ・市から具体的な回答が得られれば良い
- ・気軽に参加できること
- ・教育の方向性 財政 子供が未来を作る
- ・活発な話し合い
- ・具体的で実践的な質問
- ・公と民が、平等な立場で意見交換できる
- ・多くの視点を集約した質問
- ・わかりやすい言葉を使ってほしい。
- ・よりテーマや市民の声を反映したもの
- ・参加ハードルをなるべく低く、web、リモート
- ・個人の考えから深掘された質問がされると良い
- ・市民の意見が取り上げられる機会がふえるとよい。

- ・多くの市民の方の意見交換ができる場が数回あると良いと思います。
- ・もっと様々に人に発信して、いろんな方が参加できるように
- ・希望して参加できなかった方もネット等で参加や意見を聞けるようにしたらいいのかと思います。

(10) 今後調査すべき市の大きな課題についてご意見があればご自由にお書きください。

- ・市内、特に郊外の公共交通の確保について
- ・空き家、空き施設には何か案があるのでしょうか？ 今回の意見交換会、たくさんの学びがあってとても有意義でした。
- ・少子化に対応する政策
- ・小中学校の統廃合(公立保育所も含む)
- ・教育問題(統廃合、部活動)→現場の声に耳を傾けてほしい。
- ・学校や公民館、図書館について、他の市や県のうごきをみてほしい。
- ・防災公園であるパティオにいがたの大型遊具設置について
- ・財政について
- ・急激な人口減少社会に突入しており今回の研修会大変良かった。

アンケートまとめ

- ・参加者18名から得られたアンケートでは、公共施設の現状に関する理解が深まったとの回答が18名中 18 名であった。
- ・望ましい公共施設の方向性では、「縮小しつつ機能を拡充する」が最も多かった(10 名)。
- ・報告会・意見交換会の継続を求める意見が全参加者(18名)からあった。
- ・新しい質問機会の導入については、肯定的な回答が全参加者(18名)からあった。
- ・自由記述では、公共施設、財政、教育、空き家、公共交通、防災、公園整備など幅広いテーマが寄せられた。